子どもが本当にその子どもらしく持っている可能性を、力一杯出しきって、その子どもでなくては持てない持味を、個性を持つようになる。そうした教育がなされねばならないと思います。

この千差万別の幼児たちを互に接触させて社会生活を与え、また広く深く新しい経験を与えていくことによって、未発達、未分化の状態にある幼児の人格を徐々に成長させ確立させることにまず私たちは努力しなければならないと思います。人間として、肉体的、心理的にまだ一応の段階にも達していない未分化の状態にある幼児に対して、私たちは慎重に接したいと思います。これがこの子の個性だと、早のみ込みしたり、あまりに早く、子どもの個性を引き出そうとすることによって、期待しすぎたり、落胆しすぎたりしないようにしたいと思います。

両親と教師が手をとり合って、愛をもってしかも冷静に子どもを見守り、医学や心理学の助けを借りつつその成長を助けていくこと、子どもの周囲の環境を出来るだけ整えて、子どもがのびのびとその可能性を発揮出来るようにしてやること、――幼児期における「個性に応じた教育」とは結局このことに尽きるのではないかと思います。具体的には、子どもたち一人ひとりの発達過程に応じ、また環境設備に応じ、その他さまざまの条件に応じて、私たちがその場その場で工夫をこらし、考えていかねばならないのではないでしょうか。（岩国）

いろいろの子どもたち

梅津慶子

私たち保育者は一人ひとりの幼児の個性を理解し、尊重し、その伸びてゆくのを助けるものでなければなりません。十人十色の幼児の個性を深く洞察し、一人ひとりの幼児に合った処方箋を持つと言うことはたいへんに大切なことであります。しかし一人で数十人の幼児を扱う私たちにとって、このことはたいへんむずかしいのであります。幼稚園に働いてまだ二年目であったその頃の私にとって、一人ひとりの幼児に対する理解よりも、何を与えようかとの生活に追われ毎日を汲々とすごしておりました。幼児たちは一応私の意図する方向について来ているものと安易な満足を覚えておった頃、Rという男の子が途中入園してまいりました。入園当時母親は身体の大きな彼をひきずるようにして連れて来てはサッと帰ってまいります。Rは毎朝大暴れを一通りすますとムッツリと立っているばかりでした。もちろん他の幼児たちと律動や仕事をするということはありません。こうしてすごしていたある日、誕生月を調べることになり、自画像を描いて、自分の生れ月に

振りつけることになりました。Rだけがこの表に貼ることが出来なかったら困るだろうと思った私は、是が非でも自分の顔を描かせなければならないと、無理にクレオンを持たせ、その手を握って自画像を描かせてしまいました。これはあまり芳しいやり方とは思えませんが結果としては決していけなかったとは申せませんでした。なぜならこのことがきっかけとなって、Rの傾向を知ることが出来るようになったからです。彼はたいへん自尊心が強く、自分に経験のないこと、自信のないことはしようとしなかったのです。幼稚園の生活の中にある出来事がすべて驚きであり、他の幼児や私たちのおこなうこと、言うことを実にこまかく見聞きしておりました。動物や植物にも深い関心を寄せておったことがわかりました。

A子はどうみても平凡な目立たない存在の女の子でした。温和でそれ以上こうといった長所もなく運動能力が少々劣っているのが目立つほどでした。どこかによいところはないかとみているうちに、美しいものを好み、素直に喜びとし、思い出の深いことがわかってきました。感謝祭に集められた果物や野菜を養護所に届け、幸薄い子らのことを報告すると、A子は深く心に感じて早速両親に伝え、遂にクリスマスには両親をして養護所の子らにたくさんのおやつを贈らせることになりました。知的な面では特に目立つことはなくとも、たくさんの使用人のある中に傲ることなく、弟妹に髪をひっぱられても、がまんして己の分を黙々として守るA子のこの特性は損われてはならないと思います。

個性に応じた教育ということは、教育者である私たちの側からも考えられることであります。私たちはその欠けている点をきびしく自覚して向上を計ることは大切なことです。保育者の偏った能力は今、ここにある幼児に現実に反映することも否めないことです。一人の先生の偏った傾向が強く反映するのは好ましいことではありません。同じ園の先生がお互の個性と能力を理解して助け合い、欠けたことを補い合いながら、巾の広い影響を与えることはたいへんによいことであると思われます。私たちは二十数年後の成人の理想像を胸に描きながら伸び伸びと育ちゆく幼な児らの育くみの助け手となりたいものと思います。

（山形）

めだか随筆

——私のメモノートより——

臼杵田穂

始発駅で発車の合図を待つガランとした電車に、若い母親が「一人で乗ろう」といっている三才ぐらいの女の子を小脇に抱え込むようにして乗って来た。母はすぐ席に